

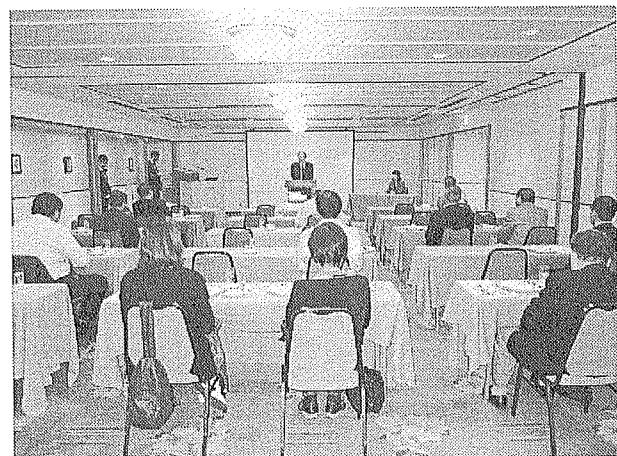
平成23年12月2日(金曜日)

大ト協港支部（吉野徹  
司支部長）は11月28日、  
大阪市港区のホテル大阪  
ベイタワーで、NPO  
法人ヘルスケアネットワ  
ークの作本貢子理事を講  
師に招いて「睡眠時無呼  
吸症候群（SAS）につ  
いて」をテーマに労務研  
修会を開催した。

開会のあいさつで吉野  
支部長（メロス）は、前  
日投票が行われた大阪  
府知事・大阪市長ダブル  
選挙の結果に言及し「昨  
日は投票締切りの午後8

時の時報と同時に橋下新  
市長の当選確実が速報で  
流れた。当選はある程度  
予想されていたが、あま  
りの速さに驚いた。橋下  
氏がどうのこうの、また、  
平松氏がどうのこうの  
の、という問題は別にし  
て、我々トラック運送業

界は橋下氏にかなり厳し  
いパンチを浴びせられて  
いる。橋下前知事によつ  
て我々トラック協会の交  
付金が昨年度は7割カッ  
トと大きく削減された。  
我々が年間を通じていろ  
んな行事を進めている中  
のほとんどに交付金が使



大ト協港支部の労務研修会

## SASテーマに 労務研修会開く

大ト協港支部

われおり、トラック協  
会が交付金に依存してい  
る部分が非常に大きいと  
いうことで、いろんな嘆  
願を行ったが、結局、な  
のつぶで、今年度の  
交付金はゼロとなつた。  
新しい知事が決まつた  
が、さてどうなるかとい  
うことが今的心境では  
ないだろうか。（橋下氏  
や大阪維新の会に対す  
る）個人の支持とかいう  
のは別問題として、トラ  
ック協会としては交付金  
について非常に心配して  
いるということだ。しかし、  
我々としては、これ  
に屈することなく、我々  
は交付金で環境対策をは  
じめいろいろなことに取り  
組んで、有効に活用して  
いることをこれからもし  
っかりアピールして、新  
知事や橋下氏の理解を得

るよう精一杯頑張つてい  
きたい」と支部長の立場  
から、橋下氏や同氏の傀  
儡とも言われている新知  
事に懸念を表明すると  
ともに、法制化された交付  
金の適正受給に向けて今  
後も最大限の努力を続け

ていく決意を示した。ま  
た、研修会については  
「もしSASにかかるて  
いるドライバーが交通事故  
を起こせば、重大事故  
になるということで非常  
に憂慮している。本日の  
研修会で、ドライバーの

健康状態の把握や、もし  
SASということであれば、  
早めに治療させると  
いつの参考になれば  
と思う」と述べた。  
このあと研修に入り、  
作本理事が、①睡眠時無  
呼吸症候群（SAS）と

は②SASのリスク③S  
ASスクリーニング検査  
と治療④取り組み事例と  
効果的な進め方⑤SAS  
と事故⑥SASと病気の  
関連性⑦SASが企業に  
及ぼす影響などについて  
詳しく述べた。